

## 8月14日、15日の台風7号接近に伴う対応について

### 【8月14日】

8月14日の実行委員会において、開催の可否を判断する時点では、おどり終了後まで風雨は注意を要する状況であると予測される中において、安全な実施が可能な体制を確保できること、また、不測の事態が発生した場合には速やかに対応することを前提として、開催することといたしました。

なお、開催に際しては、安全性を担保することを前提に、おどり開始までに演舞場のぼりや看板等の撤去、エコブース及び新町橋東おどり広場の中止など、必要な対応を行いました。

#### [判断の根拠となった気象状況等]

市の災害対策警戒本部では、14日16時に高齢者等避難情報を発令する予定であったが、大雨警報については、15日の早朝6時頃発令される見込みであり、また風による影響は、15日の午前3時から6時と想定されていた。

#### [開催に際しての対応策]

開催までに想定できうる限りの安全対策を講じ、状況によれば途中で止める判断もあるということも含めて開催する。

- 強風の対応で、昔は看板を外していたが、今は幟の設置となっているので、幟や危険と想定される看板の撤去は可能。
- 安全確保のために無料演舞場の入口付近看板の撤去、演舞場内に設置している幟の撤去、提灯については危険性が高そうな箇所について撤去し、エア－広告看板については、常時スタッフを配置し状況を見て撤去するなどの対応をする。
- 露店については組合と協議し、十分な安全対策を講じて営業するように依頼する。また、総合案内所前テントなど、風雨の影響が想定されるものは撤去する。
- 新町橋東おどり広場については、雨が降ると非常に滑りやすいので中止する。

## 【8月15日】

8月15日の実行委員会において、開催の可否を判断する時点では暴風警報が発令されており、栈敷や案内看板、照明設備等の安全確認が公演開始に間に合わないとともに、雑踏警備等のスタッフの十分な体制を確保することが難しいと判断し、また公共交通機関も運休していたことから、観客、踊り手や来場者の皆さまの安全確保の面から総合的に判断し、中止を決定しました。

なお、選抜阿波おどり、アミコドーム、さくらホールについては、昼間の公演であることから、前日（8月14日）の実行委員会において、中止することが決定されていました。

### [判断の根拠となった気象状況等]

- ・ 開催の判断をする時点では暴風警報が18時で解除されると想定されていた。
- ・ 公共交通機関（鉄道及び飛行機）の運休及び大鳴門橋や明石海峡大橋も通行止めとなっている状況において、観客、踊り手及び来場者の皆さまの交通手段の確保が困難であった。